

平成25年度さくら研修旅行  
旅行記 平野正

さくら前線が10日以上も早く走り去った4月11日早朝、14名は新下関駅に集合した。琵琶湖・長良川周辺の名城・寺社を巡りな



から桜鑑賞の3日間の旅に出た。最初には訪れたのは石山寺。ソメイヨシノは花吹雪だった。が、カエデやミツバツジ、そして見事な石の山。紫式部も眺めたであろう景色の中、千年の昔への時間の旅をも楽しんだ。十分に満足させて呉れた。比叡山、延暦寺根本中道を背に記念写真を撮



った。小雪がちらついていた、寒さに笑顔も凍る思いの一枚です。雄琴温泉近くにはシダレや八重桜の群らがりで皆が声を上げて雄琴温泉で温まったところ、宴会が始まる前に一枚。二日目は水郷めぐりで始まった。岸から生えた満開のソメイヨシノの下をくぐり抜け、大満足！バスガイドいわく、「琵琶湖の風は冷たいのです。」



彦根城では満開の桜を満喫できた。城郭ばかりでなく、庭園、お濠も素晴らしく、見るところが多、まだ見足りななくて、もう一度行きたい宿題ができた。関ヶ原の道筋入り口で、宿場町醒ヶ井(サメガイ)宿に寄った。上流で湧き出る泉、バイカモが群生、小魚ハシリヨが棲む。その自然を守る住民達の努力等を見学。長良川の温泉郷で一泊。いよいよ三日目の最終日は、根尾谷までじつ



くりと山中の道を走り、良い時期にきました。と誉められた。薄墨桜は散り際、薄墨色”になる事、老木で、数えきれないほどの支柱に支えられていた。隣に二代目があるが、一人では抱けない幹の太さ。今回の研修で、花の時期を長く楽しむ為に、シダレや八重を交互に植える等の工夫が欲しいとの思いを強くした。最後は犬山城です。彦根城、松本城、姫路城と共に国宝に指定されています。秀吉が家康と戦った際、12万の兵を率いて入城していたそうです。見どころ一杯の近江路の旅でした。

俵山しゃくなげ園整備作業

7月26日(金) 毎年の恒例となつた俵山しゃくなげ園の下草刈り作業に参加しましたので報告します。下草刈り作業は、今年で4回目とのこと。(さくら友の会としての参加は、3回目)。全体参加者は、90名とのこと。(さくら友の会からは、8名参加) 非常に蒸し暑い天候のなか、広大なしゃくなげ園を3班(手鎌部隊が2班、刈払い機部隊が1班)に分かれて草刈り実施。



午前10時過ぎから、皆汗でびしょびしょになりながら約1時間の作業を実施。今年はハチが多く、数名の方が刺されたとのこと(さくら友の会は被害なし)。5月に花を見学する時にも感じますが、下草刈り作業中には特に、よくもこんな広大な場所に3万本ものしゃくなげを個人で植栽したものだと思えて感じました。(坂井健二)